
あなたのぬくもり

沙織

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなたのぬくもり

【著者名】

N5432D

沙織

【あらすじ】

あの時、あなたの中に少しでも愛はあった？

ぎゅっと抱きしめてくれた貴方の腕の中に、

ほんの数十秒でもいれただけで、

あたしは幸せな気持ちになれた。

貴方のぬくもりを感じることが出来たから。

『お前つ、音漏れ激しい！』

「！」あんなさあい

2人で並んで歩く、星空の下。

数少ない街灯の光で出来る2人の影。

空には無数の星。

そこにはあたしのお気に入りのオレンジの星が

いつものように輝いていた。

いつのよに、街灯のそばで立ち止まり天体観測。

学校のこと、進路のこと、友達のこと

たくさん話して、たくさん笑って。

あたしの大好きな時間だった。

「ばーか」

『「つるせえーなつ！』

貴方をからかえば、言い返されて、

『ふつ、バカじゃん』

「うるせこつ」

貴方からかわれば、言い返して

時間も気にせず、二人で星を眺めてた。

「寒い・・・」

と言えば、黙つて抱きしめてくれた貴方。

貴方の腕の中にいた時間、

心も体もあつたくなれた気がした。

ふわっと包む貴方の匂い、

時折聞こえる貴方の鼓動、

短い時間だつたけど、貴方を感じられた。

孤独が嫌いなあたしにとつて

貴方の腕の中にいる時間は、とっても幸せな瞬間で・・・
トナ

離れた瞬間、すく寒くて、

寂しささえ感じたほどだった。

一人で家に向かう時、

輝く星を見ながら思つた。

2人で見るオレンジの星。

夜空を見ると、一番に見つけられるほど

うすい雲がかかつたって
キラキラ光るその星は

いつもこっちを見てくれてる気がして
その星を見るだけで幸せな気持ちになれるんだ

あたしも、誰かにとつて
一緒にいるだけで幸せだつて
思つてもらえる人になりたいんだ

貴方があたしを抱きしめてくれた時、
貴方の中に少しでも愛はあったかな?

あたしはあつたよ。

貴方の事が大好きだつた。

貴方のなかに愛はあつたかな?

やつぱりふざけてただけなの?

ちょっと寂しいな・・・

ずっと大好きだよ

もう一度と会えないとしても、

貴方が好きでいてくれなくとも

あたしは貴方をずっと

「大好きな人」として忘れないから。

貴方の中にすこしでも

あたしの存在があるといいな・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5432d/>

あなたのぬくもり

2010年11月23日03時27分発行